

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-034956

(43)Date of publication of application : 07.02.1997

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 15/02

(21)Application number : 07-205226

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 19.07.1995

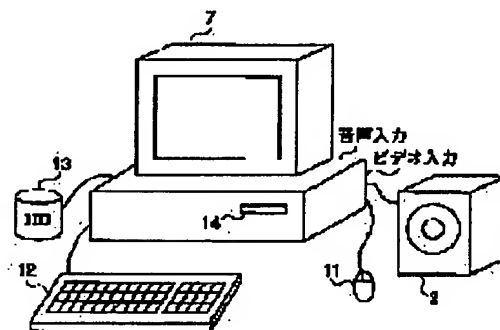
(72)Inventor : HATANAKA KOJI

(54) SCHEDULE MANAGEMENT DEVICE AND METHOD THEREFOR

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To suitably register/manage a schedule including an event undefined time and an event having no corresponding time.

SOLUTION: A schedule management screen is displayed on a monitor 7. When a date is designated by a pointing device 11, the schedule on that day is displayed by a display method corresponding to a display mode. In such a case, the display mode is indicated by an operator. The schedule is managed/ registered on the schedule management screen based on the date. Then, the schedule is managed and registered in accordance with a content which is set in a schedule data management table stored in HE 13 or FD 14.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-34956

(43) 公開日 平成9年(1997)2月7日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60			G 0 6 F 15/21	L
15/02	3 5 5		15/02	3 5 5 A

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平7-205226

(22) 出願日 平成7年(1995)7月19日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 畑中 耕治

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ
ノン株式会社内

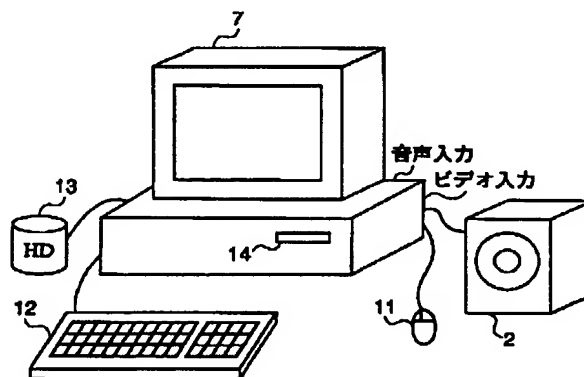
(74) 代理人 弁理士 渡部 敏彦

(54) 【発明の名称】 スケジュール管理装置及びスケジュール管理方法

(57) 【要約】

【目的】 時間が未定のイベントや、対応する時間が無いイベント等を含むスケジュールを好適に登録・管理することを目的とする。

【構成】 本装置のスケジュール管理画面は、モニタ7上に表示され、ポインティングデバイス11により日付を指定するとその日のスケジュールが表示モードに応じた表示方法で表示されるものであり、この場合、表示モードはオペレータにより指示される。また、スケジュール管理画面におけるスケジュールの管理・登録は日付を基に行われ、さらにHD13又は、FD14に格納されたスケジュールデータ管理テーブルに設定された内容に応じて、その管理・登録が行われる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 予定の日付と、前記予定の内容に関する一又は二以上の項目とをイベントデータとして入力する予定入力手段と、

前記イベントデータに関する管理テーブルを格納する格納手段と、

前記入力されたイベントデータを前記日付と関連付けて前記管理テーブルに設定するとともに、その管理を行うテーブル管理手段とを備えたことを特徴とするスケジュール管理装置。

【請求項2】 指定された日付を基に、前記管理テーブルから対応するイベントデータを検索する検索手段を備えたことを特徴とする請求項1記載のスケジュール管理装置。

【請求項3】 前記検索手段により検索されたイベントデータ及び設定された表示形式に基づいて、その表示形式で特定されるイベントデータの項目を用いて、前記検索されたイベントデータの表示データを作成する作成手段と、

この作成手段によって作成された表示データを表示する表示手段とを備えたことを特徴とする請求項2記載のスケジュール管理装置。

【請求項4】 予定の日付と、前記予定の内容に関する一又は二以上の項目とからなるイベントデータとして入力する第1のステップと、

前記入力されたイベントデータを前記日付と関連付けて格納手段に格納される管理テーブルに設定するとともに、その管理を行う第2のステップとを含むことを特徴とするスケジュール管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、コンピュータや、電子手帳等の情報処理装置に適用され、スケジュールを登録し管理、表示するスケジュール管理装置及びスケジュール管理方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のこの種のスケジュール管理装置では、予定（以下「スケジュール」という。）を構成するイベントの開始時刻、終了時刻を設定し、その管理を行うものが知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記のような従来のスケジュール管理装置においては、スケジュールを構成するイベントの登録の際に必ず開始時刻、終了時刻を設定しなければならないため、時間が未定のイベントを登録する場合には、さしあたっての時間を設定するなどしなければならないし、また、丸1日にわたるイベントのように対応する時間を指定するのが不可能なイベントの場合にも、適当な時間を設定して登録したり、または、週間予定などの表示画面に画面を切り替え

て設定しなければならないという問題があった。

【0004】本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、時間が未定のイベントや、対応する時間が無いイベント等を含むスケジュールを好適に登録・管理することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために本発明は以下の手段を有する。

【0006】請求項1記載のスケジュール管理装置は、
10 予定の日付と、前記予定の内容に関する一又は二以上の項目とをイベントデータとして入力する予定入力手段と、前記イベントデータに関する管理テーブルを格納する格納手段と、前記入力されたイベントデータを前記日付と関連付けて前記管理テーブルに設定するとともに、その管理を行うテーブル管理手段とを備えたことを特徴とする。

【0007】以上の構成によりテーブル管理手段が、入力されたイベントデータを日付と関連付けて格納手段に格納された管理テーブルに設定するとともに、その管理
20 を行う。

【0008】請求項2記載のスケジュール管理装置は、指定された日付を基に、前記管理テーブルから対応するイベントデータを検索する検索手段を備えたことを特徴とする。

【0009】以上の構成により検索手段は、指定された日付を基に、前記管理テーブルから対応するイベントデータを検索する。

【0010】請求項3記載のスケジュール管理装置は、
30 検索手段により検索されたイベントデータ及び設定された表示形式に基づいて、その表示形式で特定されるイベントデータの項目を用いて、前記検索されたイベントデータの表示データを作成する作成手段と、この作成手段によって作成された表示データを表示する表示手段とを備えたことを特徴とする。

【0011】以上の構成により作成手段は、検索手段により検索されたイベントデータ及び設定された表示形式に基づいて、その表示形式で特定されるイベントデータの項目を用いて、前記検索されたイベントデータの表示
40 データを作成し、表示手段は、この作成手段によって作成された表示データを表示する。

【0012】請求項4記載のスケジュール管理方法は、予定の日付と、前記予定の内容に関する一又は二以上の項目とをイベントデータとして入力する第1のステップと、前記入力されたイベントデータを前記日付と関連付けて格納手段に格納される管理テーブルに設定するとともに、その管理を行う第2のステップとを含むことを特徴とする。

【0013】以上の構成によるこのスケジュール管理方法によれば、第1のステップにおいて、予定の日付又は
50 予定の日付及び時刻情報からなる時間情報と、前記予定

の内容の概略を示す又は二以上の項目からなる概略情報とをイベントデータとして入力し、第2のステップでは、前記入力されたイベントデータを前記日付と関連付けて格納手段に格納される管理テーブルに設定するとともに、その管理を行う。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照して詳細に説明する。

【0015】図1は、本発明によるスケジュール管理装置を実施した一形態例を示す概略外觀図であり、図2はそのブロック図である。

【0016】本装置は、図1及び図2に示すように、サウンドボード1と、このサウンドボード1に接続された音声出力用としてのスピーカ2と、ビデオキャプチャボード4と、表示手段としてのCRTコントローラ6及びこのCRTコントローラ6に接続されたモニター7と、演算処理装置(CPU)8と、メモリ9と、汎用入出力インターフェース10と、プリンタコントローラ15と、このプリンタコントローラ15に接続されたプリンタ16とを有して構成されているものである。

【0017】本装置はまた、ユーザインターフェースハードウェアとしてユーザが本装置に入力することができるように汎用入出力インターフェース10を介して、ポインティングデバイス11と、キーボード12と、ハードディスク装置(HD)13と、フロッピーディスク装置(FD)14とを有しているものである。

【0018】尚、本装置では後述する幾つかの表示モードを切り換えることにより、スケジュールデータの表示形式を選択できるが、その場合はオペレータがポインティングデバイス11を操作することにより表示モードの選択が可能である。

【0019】ここで、サウンドボード1は、音声データ3等のデータを取り込めるように、A/D、D/A変換装置を備えたものである。

【0020】スピーカ2は、サウンドボード1に取り込まれたデータを音声として出力するものである。

【0021】ビデオキャプチャボード4は、映像データ5等のデータをシステムに取り込めるように、A/D、D/A変換装置を備えたものである。

【0022】CRTコントローラ6は、モニター7上で入力されたイベントデータ等の目視できるデータをユーザに与えるものである。

【0023】メモリ9は、記憶部としてのROM、RAMからなる内部記憶メモリであり、本装置全体を制御するプログラムや後述する図13に示すフローチャートに係るプログラムや各種データ等を記憶しているものである。

【0024】HD13及びFD14は、入力されたイベントデータの記憶手段及び外部補助記憶装置としての機能を有するものであり、メモリ9と同様に各種プログラ

ムや、各種データ等を記憶しているものである。

【0025】CPU8は、メモリ9、HD13及びFD14に記憶された各種制御プログラムに従い本装置全体を制御するものであり、図3に示すように、制御手段31、GUI(グラフィカル・ユーザー・インターフェース)管理手段32、スケジュール管理手段33、表示データ作成手段34、スケジュールデータ編集手段35及びデータ入出力管理手段36の機能を実現するものである。

【0026】ここで、制御手段31は、本装置全体の動作を制御するものである。

【0027】GUI管理手段32は、モニター7及びポインティングデバイス11に接続され、後述する図5に示す新規イベント設定ウィンドウや図10乃至図12に示すスケジュール管理画面のようなグラフィカル・ユーザー・インターフェース(GUI)による容易な操作環境を提供するものであり、ポインティングデバイス11又はキーボード12による本装置への操作を管理し、また、本装置からの様々な情報をモニター7によってオペレータに表示するものである。

【0028】スケジュールデータ管理手段33は、本発明で扱うスケジュールデータを管理するものであり、スケジュールを構成する各イベントの開始時刻や終了時刻、イベント名、場所、メモ、イベントに関連するマルチメディアデータファイルの格納場所を管理するためのスケジュールデータ管理テーブル37を管理するテーブル管理手段としての機能を有しているものである。

【0029】表示データ作成手段34は、指定される日付に応じたスケジュールデータを表示するため、スケジュールデータ管理手段33が管理するデータを用いて表示データを作成するとともに、後に詳述するイベント・トレイを作成しその作成したイベント・トレイの個数を判断するためのカウンターを用意するものである。

【0030】さらに表示データ作成手段34は、指定された日付をキーとして、スケジュールデータ管理手段33によりその日付に対応したイベントデータを検索する検索手段としての機能を有しており、また、その検索したイベントデータと、表示モードに応じて設定された表示形式に基づいて、その表示形式で特定されるイベントデータの項目を用いて、検索したイベントデータの表示データを作成する作成手段としての機能を有し、その表示データをモニター7により表示するものである。また、表示モードによっては、関連付けられたファイルをHD13やFD14から読み込み、それを表示するためにファイルの内容に応じた縮小画像の作成をも行うものである。

【0031】スケジュールデータ編集手段35は、スケジュールデータの編集を行い、スケジュールデータを構成する各イベントデータの編集や、スケジュールにイベントの挿入、削除を行うものであり、編集を行った場合

には、スケジュールデータ管理手段33によりスケジュールデータ管理テーブル37の内容を変更するものである。

【0032】データ入出力管理手段36は、HD13とFD14を管理し、本装置へのデータの入出力を管理するものであり、様々なファイルやデータを管理するツールを保持し、これによりオペレータによるファイルの管理やイベントの関連ファイルの設定ができるようになっているものである。

【0033】スケジュールデータ管理テーブル37は、HD13やFD14内に格納されて存在するものである。

【0034】図4は、そのスケジュールデータ管理テーブル37の説明図であり、同図では、その部分的なスケジュールデータ管理テーブル80を示したものである。

【0035】図4に示すように、部分的なスケジュールデータ管理テーブル80は、1995年3月27日に対応するスケジュールデータを格納しているものであり、予定の日付を示す日付データ88と、予定の内容に関する複数の項目情報130とを有して構成されているものである。

【0036】複数の項目情報130は、時刻情報としての開始時刻データ89及び終了時刻データ90と、スケジュールの内容の概略を示す項目として、イベント名データ91、場所データ92、メモデータ93及び関連ファイルデータ94とを有しているものであり、また、これらのデータのうち少なくとも一つのデータはスケジュールデータ管理手段33により日付データ88に関連付けられ、スケジュールデータ管理テーブル37に設定されるようになっているものである。

【0037】このようにスケジュール管理テーブル37は、時間情報として、日付データ88と、開始時刻データ89及び終了時刻データ90との時刻情報とを有しているものである。

【0038】また、本実施の形態ではスケジュールデータ管理テーブル37は、イベントデータを基本データ81及び拡張データ82として管理するものである。

【0039】ここで、基本データ81は、時間情報と、項目情報130のうちイベント名データ91及び場所データ92とからなるものである。

【0040】拡張データ82は、項目情報130のうちメモデータ93及び関連ファイルデータ94からなるものである。

【0041】尚、どれを基本データ81にするかは上記に限定されず、例えば、場所データ92を拡張データ82に含めて構成してもよい。

【0042】さらに、図4において、この日(1995年3月27日)のスケジュールは5つのイベントからなっており、それぞれのイベントデータは部分的なスケジュールデータ管理テーブル80の行データ83、84、

85、86、87の各行の要素に対応するものである。

【0043】ここで、図4に示すように、本装置においては、それぞれのデータはイベント毎に全て必要というのではなく、時間情報のうちの日付データ88によって各イベントデータが管理されるので、時刻が未定のイベント等の場合は、開始時刻データ89や終了時刻データ90を設定しなくても、項目情報130のその他の項目のうち少なくとも一つが設定されていれば、スケジュールデータ管理手段33によりその管理が可能となるものである。

【0044】次に、前記GUI管理手段32により提供される新規イベント設定ウィンドウ70の構成を図面を参照して説明する。

【0045】図5は、前記GUI管理手段32により提供される新規イベント設定ウィンドウ70の説明図であり、この新規イベント設定ウィンドウ70は、オペレータがスケジュールを構成するイベントデータを作成するためのものである。

【0046】ここで、新規イベント設定ウィンドウ70は、オペレータの指示によりモニタ7上に表示されキーボード12、ポインティングデバイス11とともに予定入力手段としての機能を有するものであり、日付を入力するための日付設定欄71と、項目情報130を入力するための開始時刻設定欄72、終了時刻設定欄73、イベント名設定欄74、場所設定欄75、メモ設定欄76、関連ファイル設定欄77、追加ボタン78及びファイル名指定欄79とを有して構成されるものである。尚、この新規イベント設定ウィンドウ70は、オペレータは日付又は日付及び時刻情報からなる時間情報と、項目情報130のその他の少なくとも一つの項目をイベントデータとして入力すればよく、設定したい項目のみを設定することが可能となっているものである。

【0047】日付設定欄71は、日付の設定に用いられるものであり、これにより任意の日付に新規イベントを設定することができるものである。

【0048】開始時刻設定欄72及び終了時刻設定欄73は、それぞれイベントの開始、終了時刻の設定に用いられるものである。但し、時刻が未定のイベント等の場合にはこれらの時刻の設定は、必ずしもしなくてもよいようになっているものである。また、終了時刻が未定のイベントなどに対応して、開始時刻のみを設定できるようにもなっているが、ここで終了時刻のみを設定することはできなくなっているものである。

【0049】イベント名設定欄74は、イベント名の設定に用いられるものである。

【0050】場所設定欄75は、イベントが行われる場所の設定に用いられるものである。メモ設定欄76は、その他の情報をオペレータが入力したい場合に用いられるものである。

【0051】関連ファイル設定欄77は、イベントに関

連付けたい指定のファイルがある場合に、その設定を行うために用いられるものであり、ファイル名指定欄79によりファイル名を指定し、追加ボタン78により指定することもできるし、あるいは、ファイル管理ツールなどから、ポインティングデバイス130を用いてドラッグ&ドロップすることにより設定することもできるものである。

【0052】また、関連ファイル設定欄77は、上記のように関連ファイルを指定すると、表示データ作成手段34により、ファイル内容に対応した縮小画像が作成され、表示されるようになっている。

【0053】次に、前記表示データ作成手段34により作成されるイベント・トレイの構成を図面を参照して説明する。

【0054】図6乃至図9は、前記表示データ作成手段34により作成されるイベント・トレイの説明図であり、図6は基本・トレイ101、図7はメモ・トレイ102、図8は関連ファイル・トレイ103、図9はその他のトレイの説明図である。

【0055】本実施の形態では、日付を指定するとその日のスケジュールに含まれているイベント毎に表示データ作成手段34によりイベント・トレイが作成され、それが表示されるようになっており、該イベント・トレイは、その表示形式により基本・トレイ101、メモ・トレイ102、関連ファイル・トレイ103及びその他のトレイからなっているものである。

【0056】ここで基本・トレイ101には、図7に示したように、基本データ81である開始時刻データと終了時刻データ104、イベント名データ105及び場所データ106が表示されるようになっている。

【0057】メモ・トレイ102には、図8に示したように、基本データ81に加え拡張データ82の内のメモデータ107が表示されるようになっている。

【0058】関連ファイル・トレイ103には、図9に示したように、基本データ81と全ての拡張データ82が表示されるようになっている。この場合、関連ファイルが画像データの場合、その画像の縮小画像108がファイル名と共に関連ファイル・トレイ103に表示され、その他の場合は、関連ファイルが作成されたアプリケーションのアイコン画像109がファイル名と共に表示されるようになっている。

【0059】また、図4に示すように本実施の形態では、イベントデータとして、全ての項目に対応するデータがあるとは限らない。その場合、イベント・トレイには設定されているデータのみが含まれて、その他のトレイとして表示されるようになっている。

【0060】例えば、図4のイベント83では、基本データ81、拡張データ82の内イベント名データのみが設定されているので、図10に示したように表示モードに関わらずイベント・トレイはその他のトレイとして、

時刻未指定のトレイ110のようになり、イベント名データ111のみが時刻未指定のトレイ110に含まれるようになっている。

【0061】このように本装置では、その他のトレイにより時刻が設定されていないイベントも設定されているイベントと同様にその内容の表示が可能となるものである。

【0062】また、本実施の形態では明示しないが、本装置は、開始時刻データのないイベントを表すイベント・トレイを図9に示すように他のトレイと表示色を変えることにより区別する手段を備えており、これにより、会議のように正確な時刻が必要なイベントと、記念日のような日付に対応したイベントとを区別して表示することもできるようになっている。

【0063】次に、前記GUI管理手段32により提供されるスケジュール管理画面の構成を図面を参照して説明する。

【0064】図10乃至図12は、モニタ7上に表示されるスケジュール管理画面の一例を示す説明図である。

【0065】本装置のスケジュール管理画面は、日付を指定するとその日のスケジュールが表示モードに応じた表示形式で表示されるものであり、この場合、表示モードはオペレータにより指示されるものである。尚、表示モードは、基本データ表示モード、メモデータ表示モード及び関連ファイル表示モードからなるものであり、図10は関連ファイル表示モード、図11は基本データ表示モード、図12はメモデータ表示モードにおけるスケジュール管理画面を示した図である。

【0066】図10に示すようにスケジュール管理画面は、カレンダー変更ボタン41、42、カレンダー表示領域43、日付表示領域44、新規イベント作成ボタン45、イベント削除ボタン46、モード選択ボタン100、スケジュール表示領域50及び日付変更ボタン62、63を有して構成されているものである。

【0067】モード選択ボタン100は、表示モードを変更するとともにイベントデータの表示形式を切り換える切換手段としての機能を有するものであり、基本モードボタン47、メモモードボタン48及び関連ファイルモードボタン49からなるものである。尚、図10は、関連ファイルモードボタン49が指定された状態であり、図11は基本モードボタン47、図12はメモモードボタン48が指定された状態を示している。

【0068】カレンダー表示領域43は、本装置を起動させた日付を含む月から前後1ヶ月分のカレンダーを表示するものであり、オペレータがカレンダー上の日付をポインティングデバイスで指定することにより、任意の日付のスケジュールを見ることができるようになっているものである。

【0069】カレンダー変更ボタン41、42は、オペレータの操作により任意の月のカレンダーをカレンダー

表示領域43に表示することができるようになっているものである。

【0070】日付表示領域44では、表示中のスケジュールの日付が表示されるものである。

【0071】日付変更ボタン62、63は、スケジュール表示日付を1日ずつ変更するためのボタンであり、ポインティングデバイス11で指示することによりスケジュールの表示日を1日ずつ進める、もしくは戻すことが可能となっているものである。

【0072】新規イベント作成ボタン45は、新たなイベントをスケジュールに加える場合に指示するものであり、まず、イベントを加えたい日をカレンダーもしくは日付変更ボタン62、63によって指定し、その日のスケジュールをスケジュール表示領域50に表示させた後、新規イベント作成ボタン45を指定すると前述の図5に示す新規イベント設定ウィンドウ70を表示するようになっているものである。尚、新規イベント設定ウィンドウ70を表示させた後に、日付設定欄71を変更して任意の日付に新規イベントを設定することもできるようになっている。

【0073】スケジュール表示領域50は、イベント表示方法であるイベント・トレイを表示する領域であり、スケジュールに含まれるイベントの数だけイベント・トレイが表示されるようになっているものである。

【0074】また、スケジュール表示領域50は、スクロールバー40を備え、全てのイベント・トレイがスケジュール表示領域に表示されない場合には、このスクロールバー40を用いて表示内容を上下にスクロールすることができるようになっている。

【0075】さらに、スケジュール表示領域50は、表示モードに応じてその表示内容（表示形式）が変わるものであり、例えば図11に示すように、基本モードボタン47を指定すると表示モードは基本データ表示モードとなり、各イベントを表示するイベント・トレイ内には基本データ81のみが含まれている前述の基本・トレイ101の形式のものがイベント・トレイ52b、55a、56aのように表示されるようになっている。このため、限られた画面内で表示されるイベント数が多くなり、スケジュールの概要をつかむのに好適な表示状態となる。

【0076】また図12に示すように、メモモードボタン48を指定すると、基本データ81に加えて拡張データ82のうちメモデータがある場合には各イベントのイベント・トレイに加えられ、前述のメモ・トレイ102の形式のものがイベント・トレイ52cのように表示されるようになっている。尚、メモデータがないものは、図11の基本データ表示モードと同様に基本データ81のみの形式でイベント・トレイ55bのように表示されるようになっている。このメモデータ表示モードでは、より詳細なイベント情報を得たい場合に好適である。

【0077】さらに図10に示すように、関連ファイルモードボタン49を指定すると、基本データ81に拡張データ82全て（メモデータ、関連ファイルデータ）が加えられ、前述の関連ファイル・トレイ103の形式のものがイベント・トレイ52aのように表示されるようになっている。尚、拡張データ82がないものは、図11の基本データ表示モードと同様に基本データ81のみの形式でイベント・トレイが表示されるようになっている。この関連ファイル表示モードでは、メモデータ表示モードよりさらに詳細なイベント情報を得たい場合に好適である。

【0078】尚、スケジュール表示領域50には、上記いずれの表示モードにおいても、その他のトレイ、例えば前述の時刻未指定のトレイ110のようにイベント名のみで構成されるイベント・トレイ51も同時に表示されるようになっている。

【0079】以上のように、本装置は、表示データ作成手段34により表示データを作成するとともに、表示モードを変えることにより必要に応じて項目情報130の各種データ（項目）を任意に追加又は減縮することができるものである。

【0080】一方、上記の構成において、スケジュールから任意のイベントを削除したい場合には、スケジュール表示欄50に表示されている任意のイベント・トレイをポインティングデバイス11により指定し、その後、イベント削除ボタン46を指定することにより行われる。この場合、スケジュールデータ管理テーブル37から、対応したイベントデータが削除されるようになっている。

【0081】次に、本装置の動作を図13に示すフローチャートに従って説明する。

【0082】図13は、主にスケジュールの表示手順を示したフローチャートであり、これらの処理は表示データ作成手段34（CPU8）を中心に行われるものである。

【0083】まず、オペレータが本装置を起動しスケジュール管理画面を表示させ、スケジュールを表示する日付を指定すると（S1）、表示データ作成手段34は、スケジュールデータ管理手段33を用いて、ステップS1で指定された日付に対応したイベントデータをスケジュール管理テーブル37より検索し（S2）、イベント・トレイをイベント数と同数作るためのカウンターをイベント数ENにセットする（S3）。

【0084】次に、イベント・トレイがイベント個数と同数作られたかを判断するためカウンターの個数ENが0になったかどうかを判断する（S4）。そして、作られた場合（EN=0の場合）は、これにてこのフローを終了する。また、作られていない場合（EN≠0の場合）には、イベント・トレイを作成し、EN番目のイベントデータのうち、基本データ81をイベント・トレイ

に加え(S5)、イベント・トレイに拡張データ82を追加する必要があるかを判断するため表示モードが基本データ表示モードかどうかを判断する(S6)。

【0085】ステップS6において、表示モードが基本データ表示モードの場合には、イベント・トレイが表示され(S10)、カウンターの個数ENを1減らし(S11)、前記ステップS4に処理を戻す。

【0086】前記ステップS6において、基本データ表示モード以外の場合には、メモデータがイベント・トレイに加えられ(S7)、次に表示モードを判定し(S8)、ここで、メモモードの場合には前記ステップS10の処理に移る。

【0087】また前記ステップS8においてメモモード以外の場合には、関連ファイル表示モードなので、関連ファイルデータより、ファイルの格納場所を調べ、それをHD13から読み込み、表示データを作成する。ここで、データが画像データの場合は縮小画像を作成し、そのデータをイベント・トレイに追加する(S9)。

【0088】その他の場合は、作成されたアプリケーションのアイコン画像データをイベント・トレイに追加する。その後、前記ステップS10の処理に移る。

【0089】このような処理手順によって、図10、図11、図12に示すように各表示モードにより表示形態が変更可能となる。

【0090】以上説明したような本装置によれば、時間情報が不完全なイベントをスケジュールに登録・管理する手段を備えているので、時間が未定のイベントや、対応する時間が無いイベントを1日のスケジュール表示画面内で登録・表示することが可能となり、自然なスケジュール設定を行うことができる。

【0091】尚、本発明は上述した実施の形態によらず、種々の変形実施が可能である。

【0092】例えば、表示モードの数は、上記のように3つに限定されず、必要に応じて表示する内容を減縮してもいいし、又は逆に表示内容をさらに細かく分け表示モードの数を拡張してもよい。

【0093】また、上記においては、スケジュール管理装置が現在一般的に利用されているコンピュータに応用した例であるが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、他の情報処理装置に応用した好適な例として、本発明の各手段を実現するプログラムをROMに予め格納した電子手帳等への適用も当然考えられる。

【0094】

【発明の効果】以上詳述した本発明によれば、上述した構成としたことにより、以下の効果を奏する。

【0095】請求項1記載の発明に係るスケジュール管理装置によれば、指定されたイベントデータを日付と関連付けて管理テーブルに設定するとともに、その管理を行うので、時間情報のうちの時刻の指定が不可能である又は未定であるイベントでも、その登録・管理を好適に行

うことが可能となり、自然なスケジュール設定を行うことができる。

【0096】請求項2記載の発明に係るスケジュール管理装置によれば、指定された日付を基に、前記管理テーブルから対応するイベントデータを検索するので、時間情報のうちの時刻の指定が不可能である又は未定であるイベントを登録した場合でも、簡単にその検索を行うことが可能となる。

【0097】請求項3記載の発明に係るスケジュール管理装置によれば、検索されたイベントデータ及び設定された表示形式に基づいて、その表示形式で特定されるイベントデータの項目を用いて、表示データを作成し、この作成された表示データを表示するので、時間情報のうちの時刻の指定が不可能である又は未定であるイベントを登録した場合でも、簡単にその検索を行うことが可能となり、さらにその検索内容を様々な表示形式を選択しつつ最も適した表示形式で見ることができる。

【0098】請求項4記載の発明に係るスケジュール管理方法によれば、入力されたイベントデータを日付と関連付けて管理テーブルに設定するとともに、その管理を行うので、時間情報のうちの時刻の指定が不可能である又は未定であるイベントでも、その登録・管理を好適に行うことが可能となり、自然なスケジュール設定を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本装置の外観を示す概略外観図である。

【図2】本装置のブロック図である。

【図3】CPU及びその周辺の構成ブロック図である。

【図4】スケジュールデータ管理テーブルの説明図である。

【図5】新規イベント設定ウィンドウの説明図である。

【図6】イベント・トレイの説明図である。

【図7】イベント・トレイの説明図である。

【図8】イベント・トレイの説明図である。

【図9】イベント・トレイの説明図である。

【図10】スケジュール管理画面の一例を示す説明図である。

【図11】スケジュール管理画面の一例を示す説明図である。

【図12】スケジュール管理画面の一例を示す説明図である。

【図13】本装置の動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

8 CPU

9 メモリ

11 ポインティングデバイス

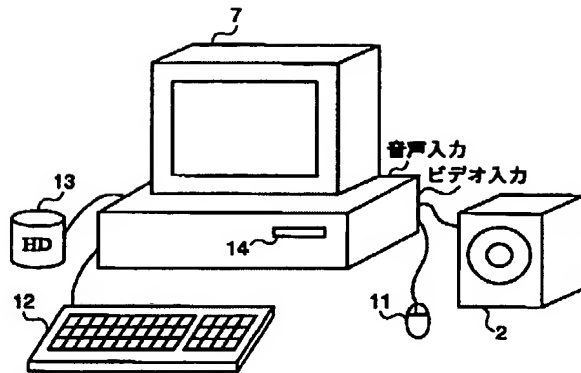
12 キーボード

33 スケジュールデータ管理手段

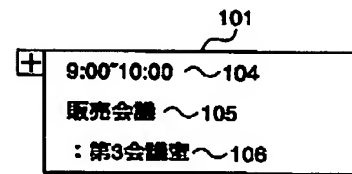
34 表示データ作成手段

37 スケジュールデータ管理テーブル

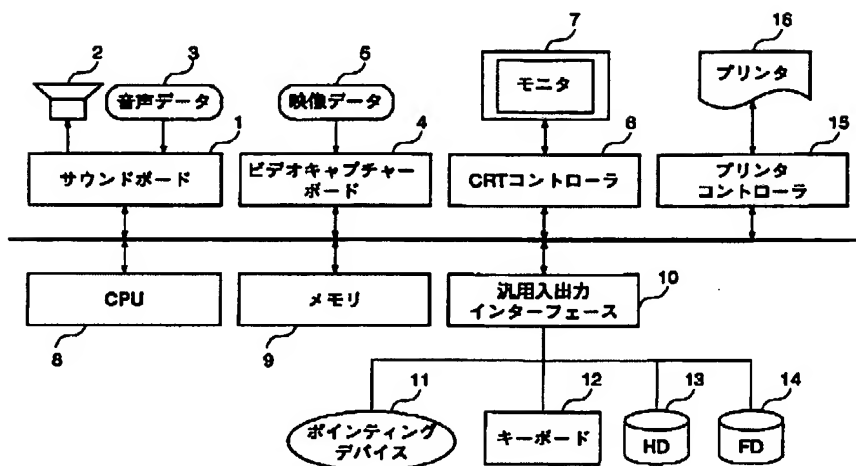
【図1】



【図6】



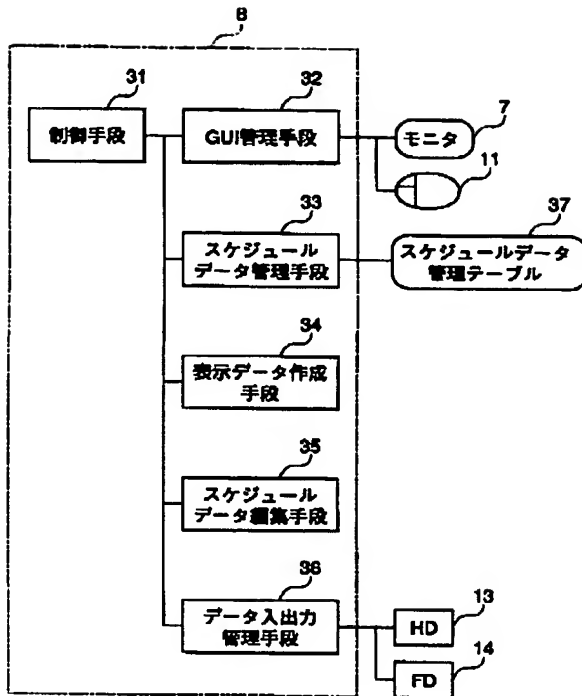
【図2】



【図4】

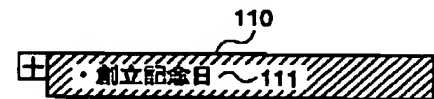
基本データ						拡張データ
日付	開始時刻	終了時刻	イベント名	場所	メモ	関連ファイル
1995/03/27			創立記念日			
1995/03/27	09:00	10:00	販売会議	第3会議室	出席者:A部長、B部長	c:\pictureV....c\.....
1995/03/27	12:00	13:00	昼食会	イースタンホテル		
1995/03/27	14:00	16:00	S社訪問	新宿	新商品打ち合わせ	c:\projectV....c\.....
1995/03/27	19:00		T氏と食事	銀座	ゴルフコンペに関して	

【図3】

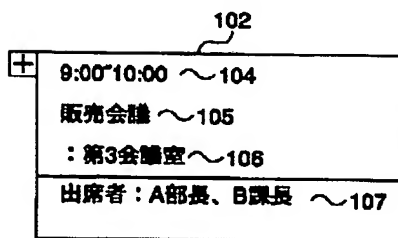


【図5】

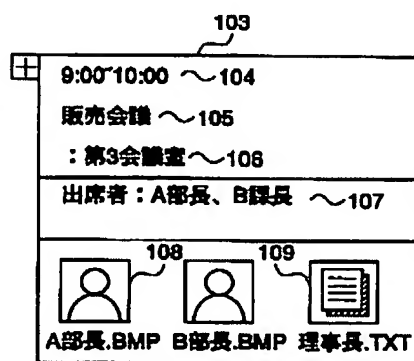
【図9】



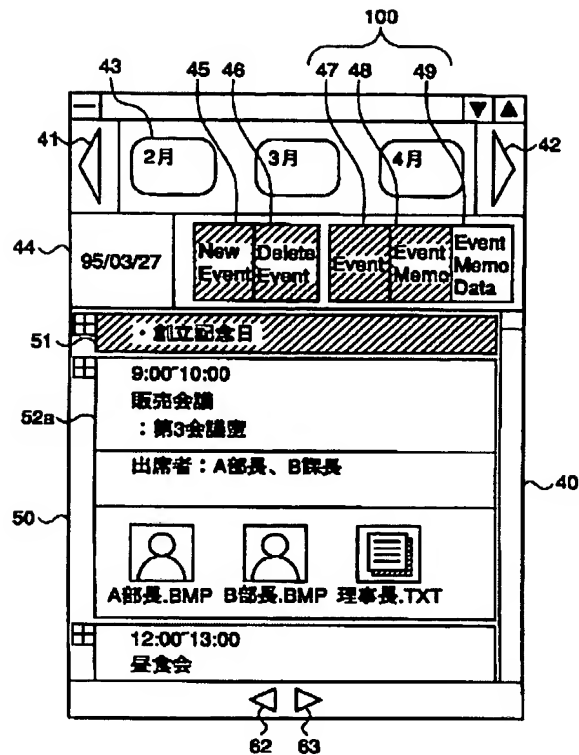
【図7】



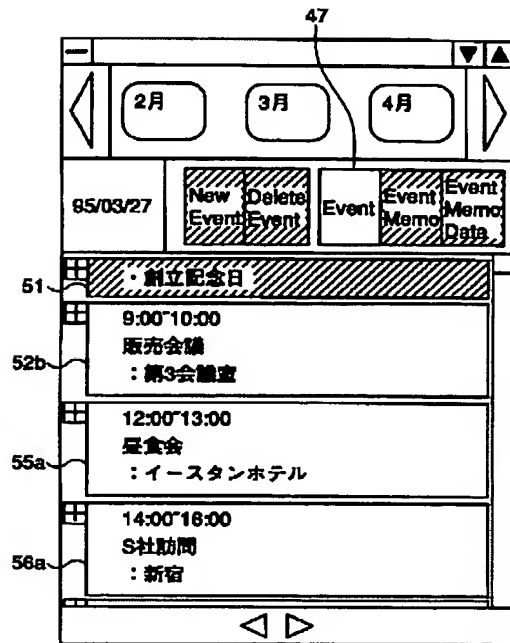
【図8】



【図10】



【図11】



【図13】

【図12】

